



バレエで中野を芸術の街へ

事業内容



初心者やライト層、復帰層など
多数のダンサーが笑顔になる

「バレエコンクール」
の開催・運営

本プロジェクト発案者



齊藤梢（バレエ講師）

谷桃子バレエ団出身ソリストとして活躍。欧米への短期留学を経てスターダンサーズバレエ団にてソリストとして出演したのち、創作作品「愛と宿命のいたずら」にて神奈川芸術舞踊協会賞受賞。20年前より東中野ダンスエレマン齊藤梢バレエスタジオを主宰しており、東京ステップスアーツ講師、ダンスクリエーションアワード審査員等の経歴を持つ。

日本バレエ協会会員として関東を中心に全国に多くのバレエダンサー、講師、舞台関係者との交流がある。

また姉の齊藤千雪は自ら創作ダンスコンペティションを開催した経験から、舞台づくりに必要な人脈（舞台監督、音響、照明、撮影など）、その他コンクール運営のノウハウをもつ。



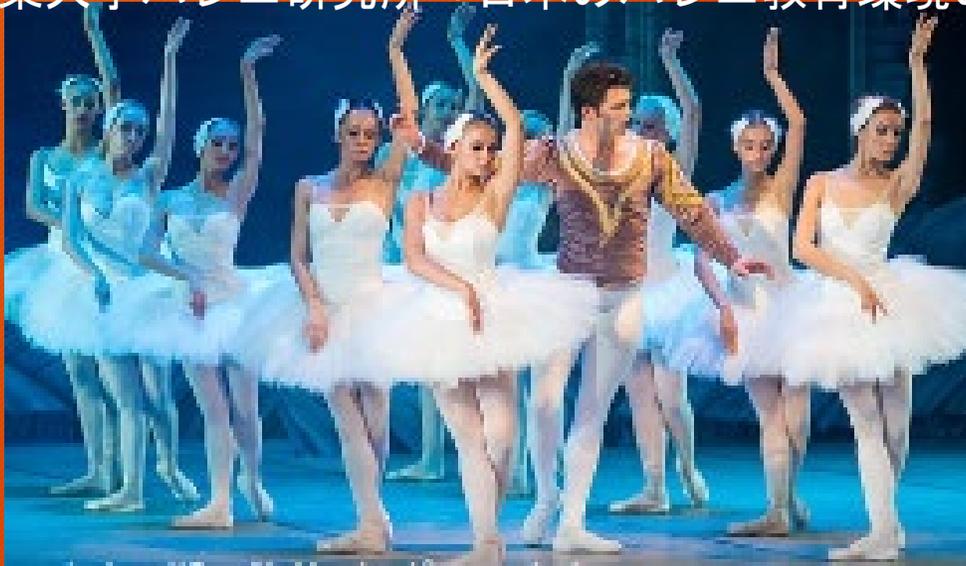
【概況】 日本のバレエ人口

バレエは舞踊、音楽、美術の総合芸術

国内のバレエ人口は全国で約25万人

(2021年度時点)

出典：昭和音楽大学バレエ研究所「日本のバレエ教育環境の実態分析」



【概況】 バレエコンクールについて

「才能の発掘」や「成長を促す」目的で
バレエの技術、芸術性などを競い合うもの
※熊川哲也氏が有名になったローザンヌ国際バレエコンクール等



コンクールの現状

2023年度、東京都内だけでも**50以上**のコンクールが開催
(週1回以上のペースで開催)

その一方で、コンクールブームの**過熱**による課題も明確
になってきている



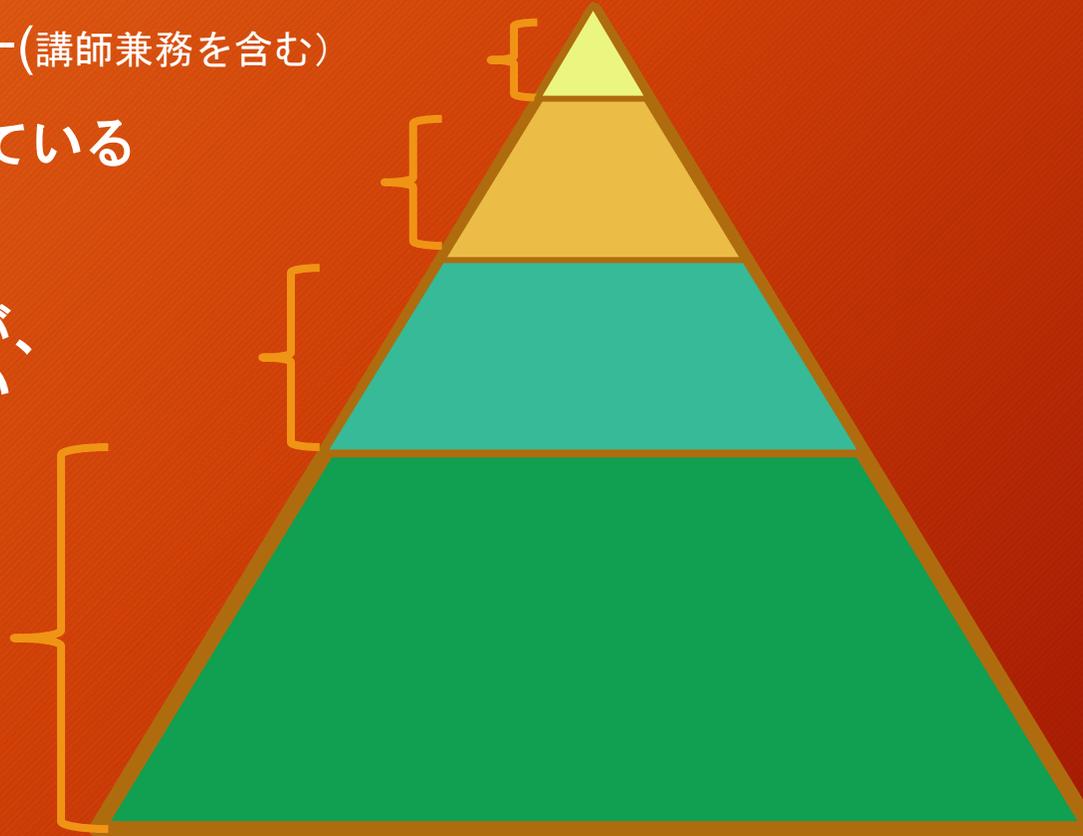
どの分野でも概ねこのようなピラミッドになる

プロダンサー(講師兼務を含む)

プロダンサーを目指している
(TOPアマ)

プロダンサーは目指さないが、
コンクールで実力は試したい

習い事の一つとしてバレエを
楽しみたい(エンジョイ層)



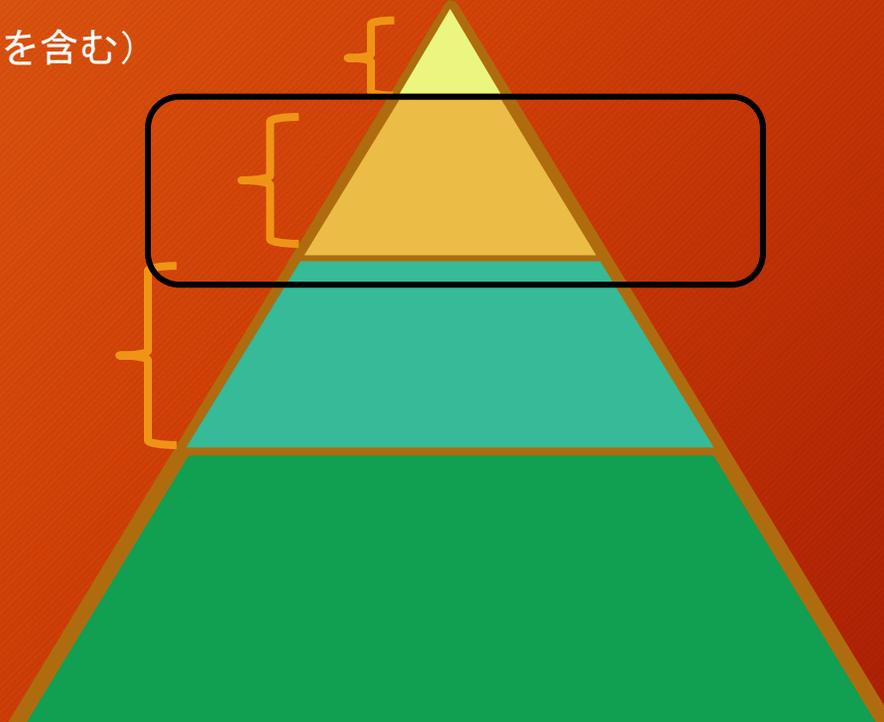
それをコンクールにあてはめるとこうなる

プロダンサー(講師兼務を含む)

プロダンサーを目指している

プロダンサーは目指さない
が、コンクールで実力を試
したい

習いごとの一つとして
バレエを楽しみたい



コンクールがこの層だけの
ものになっているのが現状

入賞のインセンティブなど
もそれに関与→留学権など

バレエ漬け・バレエ中心の人が毎回上位独占の場に

現状コンクール課題①

採点がテクニック偏重

幼少期から年齢に見合わない高難度な技術を無理に身につけることへの身体への影響の懸念



現状のコンクール課題②

敷居が高い

初心者やライト層が楽しめない、参入しづらい状況



現状のコンクール課題③



リピート(NEXTチャレンジ)がしづらい

結果、徐々にコンクール参加が重荷になり、人によってはそこでバレエを引退してしまう子も・・・

メッセージ



一部の人がしか楽しめない芸術は
いずれ衰退してしまう



メッセージ



バレエを愛する多くの人に
自分のステージにあった
表現のチャンス(場)を提供！

メッセージ

それが 「中野バレエコンクール」



企画の特徴について(具体)

1. 年齢制限なし
2. 初心者への手厚いサポート
3. 表彰可能性
4. 上位者入賞者特典
5. 審査内容の可視化



特長 1

年齢制限なし

初心者からシニアまで誰でも参加可



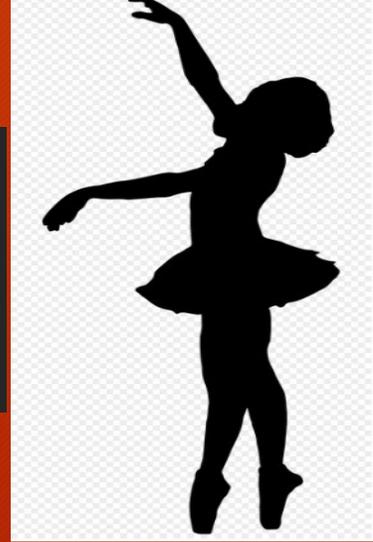
特長 2



初心者への手厚いサポート

初参加、初心者の方には、周囲のスタッフが声がけするなど手厚くサポート

特長 3



表彰可能性(リピ)アップ

上位入賞者以外から笑顔が良かった方など、
技術面以外での表彰

特長 4



上位者は次回上の部門で挑戦

上位入賞者は次回参加時に一つ上の部門で「挑戦枠」として参加

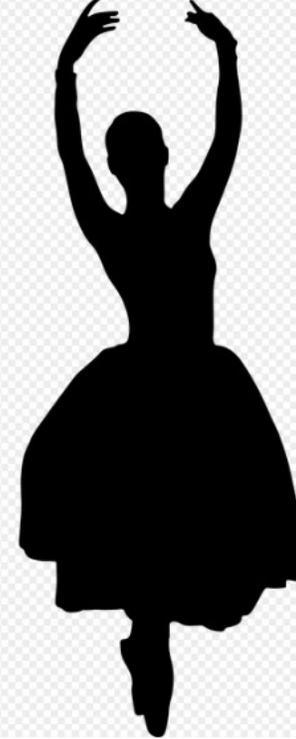
例) 小学2年生部門で上位入賞した場合、次年度参加時は「小学4年生部門」での参加（通常は「小学3年生部門」）

特長 5

審査内容の可視化

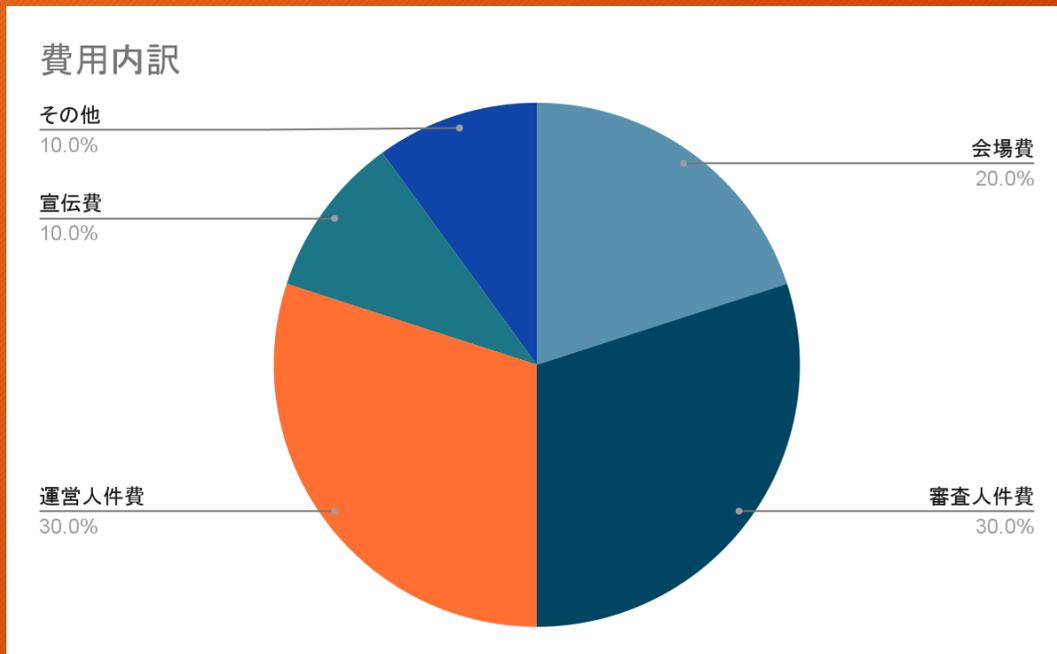
良かった点や伸ばす点など、今後のレッスンに役立つアドバイスをもとに次の成長へ

全参加者へアドバイスシート配布



収益性

参加費25,000円以下とした場合、
開催にかかる費用は約130万円（ほぼ固定）



- 参加者55名が黒字化ライン
- ワークショップの開催
- 3年目以降黒字化を目指す
 - └ 参加者の安定的確保とワークショップ等による宣伝費用等の削減で黒字幅を増やす

新しい生活様式への対応力

運用のDX(デジタル)化

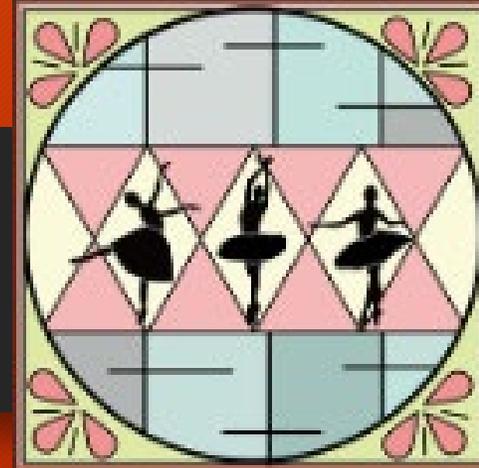
- ・ 申込、結果発表はWeb、SNSを利用
- ・ 参加者向け説明動画のアップなど

【今後】新しい生活様式への挑戦

・ AI審査を導入

審査員による技術・芸術面での審査に加え
AIによるテクニック審査により審査内容の
明確さ、可視化・データ化

地域貢献性



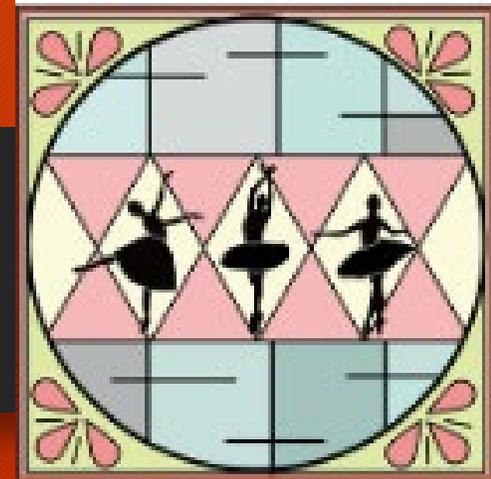
なかのZEROホールでの開催

近隣区、近県からも参加者を募る

新宿、渋谷からアクセスが良く、駅から徒歩圏内でホールがあることは参加者負担が少なく、立地メリットあり

★コンクール入場料（観覧）無料

地域貢献性

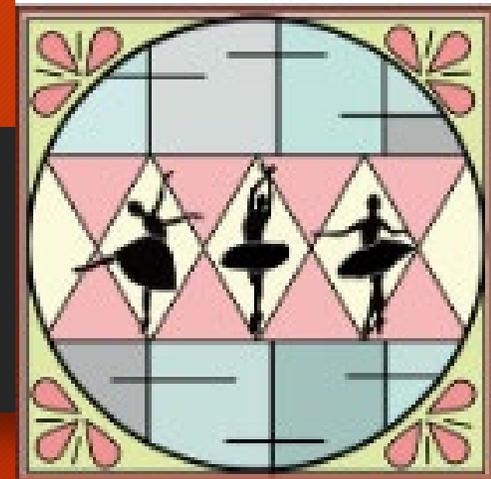


中野区の文化的環境への満足度は16%と低く、
改善策として「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」
「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が40%近い回答

(2020年「中野区文化芸術活動に関する実態調査」より)

中野区は**芸術活動の伸びしろ**がある

地域貢献性



2023年8月に中野区は「中野区文化芸術振興基本方針」を策定
今後の取り組みの方向性として「中野の文化・芸術の魅力を発信
し、中野の価値を高める」とした。

**今、中野らしい文化・芸術の
発信のチャンス！**

SDGs

「質の高い教育をみんなに」

現役のバレエダンサーや経験豊富な方からのアドバイス

初心者向けワークショップの開催
バレエに触れていただく機会を増加

4 質の高い教育を
みんなに



SDGs

「すみ続けられるまちづくりを」

文化芸術振興でさらに魅力あるまちへ

11 住み続けられる
まちづくりを



最後に(再掲)



一部の人しか楽しめない
芸術はいずれ衰退してしまう





ご清聴ありがとうございました